

# 二級建築士 木造建築士 免許申請書

〔記入注意〕 数字は算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中に✓印を付けてください。  
外国の建築士免許を受けた方は、「試験」の欄に、その免許の名称、免許者名及び免許の年月日を記入してください。

私は、二級建築士 木造建築士の免許を受けたいので、建築士法施行細則第3条第1項に規定する書類を添えて申請します。

私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

年 月 日 氏名 \_\_\_\_\_ (署名)

島根県知事 様  
島根県指定登録機関  
一般社団法人島根県建築士会会長 様

ふりがな 氏名	生年月日	昭和 平成	年 月 日	写真貼付欄 注意 1. 申請者本人のみ 2. 6ヶ月以内に撮影したもの 3. 正面、無帽、無背景 4. 縦45mm×横35mm
本籍	性別		男□ 女□	* 写真の裏面に申請都道府県名と氏名を記入してから、のりでしっかりと貼り付けてください。 * 貼付した写真はカードに転写されます。
現住所	TEL			
試験	二級建築士 木造建築士 試験に合格した時期		年	
登録申請区分	合格通知日付	年 月 日	合格通知番号	第 号
1 学歴のみにより申請する場合	1 学歴のみ □	2 学歴及び実務 □	3 実務のみ □	
	4 建築設備士 □	5 建築士法第4条第5項 □		
2 学歴及び実務により申請する場合	学校名	学部・学科名	入学・卒業(修了)年月	建築実務経験期間の合計
			年 月 入学 年 月 卒業(修了)	年 月
3 実務のみにより申請する場合	建築実務経験期間の合計			
	年 月			
4 建築設備士により申請する場合	建築設備士合格証書番号		合格年月日	
			年 月 日	
5 建築士法第4条第5項により申請する場合	免許名称	免許者名	免許の年月日	資格認定書の年月日
			年 月 日	年 月 日

欠格事由	1 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 あるときは、その罪及び刑 あるときは、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日	ある□ ない□	年 月 日					
	2 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。 あるときは、その罪及び刑 あるときは、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日	ある□ ない□	年 月 日					
	3 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 あるときは、その日	ある□ ない□	年 月 日					
	4 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間	ある□ ない□	年 月 日から 年 月 日まで					
	5 精神の機能の障害により二級建築士又は木造建築士の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない状態ですか。	はい□ いいえ□						
告示等に基づく学歴等区分(登録申請時)	□50 大学卒 40単位	□51 職能大(短大)卒 40単位	□52 大学・短大・高専・職能大等卒 30単位	□53 大学・短大・高専・職能大等卒 20単位				
	□54 高校・中学卒 20単位	□55 高校・中学卒 15単位	□56 専修(高校卒) 2年以上 40単位	□57 専修(高校卒) 2年以上 30単位				
	□58 専修(高校卒) 1年以上 20単位	□59 専修・職訓校(中学卒) 2年以上 15単位	□60 専修・職訓校(中学卒) 1年以上 10単位	□61 職訓校(高校卒) 3年以上 30単位				
	□62 職訓校(高校卒) 1年以上 20単位	□63 職訓校(中学卒) 3年以上 20単位	□64 実務経験のみ	□65 その他				
	※審査欄	手数料確認	写真照合	住民票照合	合格者照合	実務経歴	欠格審査	名簿登録
※登録番号	※登録年月日			年 月 日	※受付番号			

「払込受領証」貼付欄

※郵便局に備え付けの払込用紙にて、下記指定の郵便口座に払込み納付し、その際発行される「払込金受領証」(原本)をここに貼付してください。  
(貼る前に必ずコピーをとり保管しておいてください)

※申請窓口にて現金でのお支払をされる方は貼付の必要はありません。

申請手数料： 24,400円 (払込手数料は申請者にてご負担ください)

■ 口座番号： 01490-5-4135  
■ 加入者名： 一般社団法人 島根県建築士会

(注意) 1 数字は、算用数字を用いてください。  
2 ※欄は、記入しないでください。  
3 □のある欄は、該当する□の中に✓印を付けてください。  
4 外国の建築士免許を受けた方は、「試験」欄にその免許の名称、免許者名及び免許の年月日を記入してください。  
5 欠格事由欄の記載内容によっては、別途参考となる事項を記載した書類の提出を求める場合があります。